弘学手牒　四

字學韻册

和書門
類
號

内閣文庫
番號　和　18476
冊數　4（4）
函號　202　207

国立公文書館
National Archives of Japan

ら陸人ゑかゝぬりいおほやけ社えいのりて祈つゝ社なりとみまゐ
万れのうそゝみの三ゝ三ゝぬりてみ井井ゐたゝよ教もゝと
歌のつ祈辭（マクラコトバ）ちふてのも志ゝれゝの呂いゐ人め例よゐゝひゝゐ歌
よ武と我ほ乃や我ゐゐめ毛を言葉れほゐ人ゑ出てゝ（拙）
ま毛ゝゝゝさゝよゐゝ人のかむゝ社家つる書（フミ）ゝあれゝを我ふ
ゑつゝまゝみちゝてゝ毛る人から社詞と文を出て世ゝゐゝの
歌れゝ我つ祈ゐゐ乃ゝ言ゝきにもふゝゝほゝ我ゝて祈ゐ伊
や人はゝ歌みゐ毛ゝ

国立公文書館
National Archives of Japan

春和こゝをちふとられぬ月　打山ちらすまちふる

天保十一年庚子六月　南陵老夫書

凡例

一此書原本ニハ冠辭ノ四字ナルヲモ載タレトモ今四字ノ冠辭ハ近体ニ用ナキ故ニ之ヲ省キツ

一ちゝ玉のト受ケ受ケるもちゝでナトアルハまちマテカリテもちゝてマテハカラズ故此類もちゝでト云文字ヲ畧クモアリ

一今コヽニ寫ス処ハ横三段ニシテ冠辭ハ平假字ヲ用ヒ受ル辭ハ片假字ヲ用

一ちゝ玉のトツヽクナト古人ノ説サマ〳〵ナルハミワカラヨシト思フヲスコシ注スル

多クハ冠辭考ニヨリ又枕詞補注ト云ヲトレリ

一又トアルハ枕辭補注ヨリ加フル処ヽヲ加ハ注ヽ

歌學集腋巻六

冠辭例撰注

見田尚之纂定

南陵富永贛　校

あ

あまてゝす　日ルメノ命

あまさかる　サカラ小野

あまつゝふ　○天ヲツタフト云意ヽ　「日笠浦」「入日サシヲ」

あまさゞる　○天ノ遠サカルト云又ヽ　「鄙」　ムカフタ　「雲衣」

あらりつく　「アメノカグ山」「カセ山」

○天ヨリ降リツクト云又ヽ

あらとゝ山　泊瀬　又廿日ノ月

○舟ノ着ヲヽつるト云ヽ

あらたまの　「ノッバサ」「カルノ池」

○アハ天ヲトモノヽハヽカルモノ轉ヽ

あまびとの　「音ツレ」「音羽山」

○アマハ山ノ轉ヽ

あま雲の　「オヽカモヽラズ」「タトキモヽラズ」

「タヽタク心」　八重カキ分テ　「ユキノマニヽ」

「ユキカヘリ」　「ユクラユニ」　「別レヒケハ」

「イカツチ山」　余所　ウヽタル

あまさかれ　「ケヌヘク」

ふることり　「三笠山」

いのまろも　ウキメラワム
弥日さん　春日ノ山
あさ日かけ　ニホヘル
いさてく日　向ノ山　向フツゲクシ
○朝日ハ向フモチレハ
いさうきも　廉火屋ノ下　八重山
○朝霞カホルト受タル
あさ霜の　ケナハケヌク　ケヤ冬命
ヲキテシクハ
いさとりれ　カヨヒシ君　アサ立シワ
ナキノミ鳴ム
いさもよひ　紀人　キノベノ宮
○浅茅ト云ヲツヽケタリト云
いつつの　ヒトヘ
○いそ〳〵氏云リ　いつてハ芦ノ内ノ
紙ノ如キモノヲ云ム　あつてハ苞アーム

あまよろり　田蓑ノ嶋
○雨ト云ヨリミノト受タル
いさよひ水　仰キテ待ニ　乞雨ム
あさいけの　衣
いさひ〳〵き　コキニシ舟　コギ出テ
○舟ハ朝コキヒラクモノナレハ
あさ霧の　思ヒマトヒテ　ホノメカシ
いさ自ま　ミ水
あれあう　カシマ崎　キシミカ岳
トホフアフミ　トホツ大浦
○カシマトハわ〳〵きゝ義ム　ミ
ところハ霞ノ音ニ云カケタル
あ〳〵ひきね　トリカヒ川
○トリカヘルト云意ム
い〳〵わさの　ヨソ
○荒垣ノ外ト云ム

あ〳〵ろ木ま　多クヒヲモ
○氷魚ニカケテ云ム
あ〳〵ゆつの　タツノシ　音ニフミナカシ
いつゝムの　アナヘク我背
あ〳〵ひきの　山　此序山
岩　八ツ峯　ヲテモヲモ
○いつゝハ説〳〵アリテ定カタシ書繁末
ト云フム
又　アラシ　洞　遠山　野行山行
いつゝきの　フリヌル里　思ヒミタレテ
又　吉野　ヒマナク　マチカケトモ
あ〳〵ぢち　難波
いつびきす　サカエシ君　○馬酔木如ム

いさつゝの　命　ケサオキ中
あさ氷　トケズ　トク〳〵
い〳〵むの　月日　年　春
○明王勲ト云フ九ヘシ○又璞ノ砥ト云
カケタルトモ云
い〳〵たまの　夜
あさ山の　下ル妹　シタビガシタ
シタヒ男　○秋山ノ紅葉ノ如キウクシキト
又蓁ヒタル方ニモ云
あぢむ〳〵の　イザトハ行ド　サハギホヒテ
あぢさゐ　メコトモタエヌ　イモガ目ミスデ
メカホル君　目ニハアケヒ　ヨルヒルイハズ
○アヂムレト受ルムノ反メム
あさぢ〳〵　ツバラ〳〵
○茅原ミヽトムフトチト通フム
あらのそむ　スザ人江

あらしの　又ハいらあらしの
「アナヘグ我背」　○蹇ク

あとくるの　「シラカタノツ」
いらとみづ〜　「ヨサミノハラ」
○吉葛ト云ク青蔓ナレバ〜

あとゆう〜　「奈良」
○弥百土ト云意ニテ土ヲ築キタ作ト云ヲ

いづこゆく　「引」　「音」　「本」　「末」

「末中」　「ヨラノ山」　「八」
いろぎぬの　有テノ後　宝ノ子ラ
「ミヘノ子」　「サヒニシツミ」　「井ニシツミ」
○珠衣ミサヒニ〜サキニ〜ナトハ王ノ音ヲ云

いらたへの　「布キヌ」　「コモ」　「藤原」
○鹿キ布ヲ云

秋風の　「吹上濱」　「江浦」
いら〜小田と　「カヘス」　「ウチカヘス」

いらこ〜ハ　「九ハカハベ」　又　「九ヤカハヘノ」
又いらこ〜ハトアリ

あとやきの　又あとそこの　又ころ楊
「忍坂山」　「ハタノ上」　「葛城山」
○接楊ハ葛ノ方ヨシ　旗ハ忍坂ノ方ヨシ

あろねこん　「日」　「晝」　「君」
「テレ月夜」　「紫」　又　「岩戸山」　「朝日」
○赤気サスカ子ノ反ケ〜

あ〜ひく　「日」　「肌」　敷タヘノ
朝　○赤ラ引ク

いらこねの　「土ノ下」　○殿舎ノ根ト云フ〜
○荒金ハ土ノ下ニアルト云意〜

あろ星の　「アカヌ」　「アクルアシタ」
いきの夜乃　「ナカキ」
いらさ雾乃　「八」　「立野」
あさきりの　「小幡」

いらこ〜ハ　「ワカヤル」　「胸」
○雪ノ肌ト云フ〜

いら〜ねこ〜　津島
○荒根ハ對島ノ山ク　あろねトモ

あとやきの　「糸」
秋こそきの　「ニホヘル妹」　「ウツリモユクカ」
いら京の　「瑞穂国」　「繁ケキ小屋」
○シケキハ　醜キト云意

あ〜ねこふ　「下ニノミコソ」
いやめ若　「アヤメモシラヌ」　子ナカキ命

「子ニタテ、ナク」
あきろ羽よ　「ニホヘル」
いろきぬの　「ヒトウラ衣」
○赤衣ノ色ノ赤キ衰ト云フ〜

いら〜濃の　「浅」ラ
○今ノハナ色ク色ノ浅ラカ九ヲ云ク

いらこ〜ろ　「ハ」
あこ〜ろの　アハ又物ユヘ　「アハヒ」ト厚

あふ坂の　「ヒキモトメヌ」
あ〜坂山　「アシカル」
あろそれ　「番」ヲマツ子ラ
まそづら　「人ハクレトモ」　「ホダシ」
いらすゑ　「有テノ後」　「有ツ、」
あ〜ころけく　「ヒマナク物ヲ」
あ〜の板の　「子モコロ」　「夜ノミビカクテ」
「ワケテ」
いらたへの　「アクトヤ」
いくなりトモアリ
あけ衣　「アケナハ」
いら狭の　「ナガク」
あひきする　浪花
葵ごろも　「ウキメヲワム」

弟髪の　ミダレ
いのふすと　アコキガ嶋
○物ニアカヌト云意ニ安濃トカケ
あふるの　カタ糸　カタ貝

いかのろの　明行ニケリ
○寝ノ目ノアクト云又ニ
いかむろ　ミキテモ君ヲ　川ノヒ物
又伏見　オリシク
○寝莚皮トツケタルニ
いたつかの　若カヘリ
○石蘿ノハヒカヘルニヨセテ云ニ
いもにてい　アガノ松原　又ワカイ〻アリ
○ワカハ明ス意　又ワカハ我待トニ
いもり門　入イツミ川　出入ノ川

いらごころ　明シノ浦
秋の末の　ニホヒニテ
秋くさろ　結ヒシヒモ
いらしひく　アサカノ国

いそのかみ　フルキ　降トモ雨　袖フル
いそひの　カタコヒ
○磯ノ貝ノ舟方アル
いそしる　滝　悲水　○石激ニ
いそづれ　間近キ　カミナ　近江
ヨケチキリ。石橋ニ石走ル間ノ近キニ
又いそしるトアリ

いそくやに　カシコキ
○岩崩ニ恐ロシキトニ

いもらぐり　今キ峰　○妹ノ許ニ
いもゞ目と　トミ思辺　見マク堀江
見メタクサキ

いもら稲を　トロシノ池
いもら神　マキノ山
いもら髪　上サハ野
いもら家に　イクリノ社
いもうひも　ユバ川

家つくる　カケ　ふえつくりトモ
いえたくに　スクナミ神
○如常盤ニ　スクナミハ少彦ニ
いーたふや　アマハセブカヒ
○石殺ル如走ル使ト云リ
いえアゲて　ウラミヅアヌ。浦辺ニカケテ云

いさや川　イサトラキカヒ
いさりの水の　水隠

いめ〻〻〻　トミノ岳
○猟人鳥獣ノ跡ラトノテイルトニ
いめ人の　伏見
○いめハ夢ノ一トモ又ハ射見ニテ猟人ニ目伏ノ
陰ニカクルヲ云ニ
いるたての　ミキモミキト。射鹿ニ
いめづとの　道ニシテヤ
○犬ト云物ト云義ニ

いすぐり　鯨　○勇細ニ
いするろ　海　濱　近江海　響灘
○勇魚取ニ
いえ〻ろ　イハテ心ニ
いえふろ　フテ物思フ。ふろハ鯛ニ
いるがの　ヨルカノ池
いるミ形　イナ
いるうもろ　イカニシテカモ

いうつつか　クルシキ　心カロク
いかふの　イクヨマテアフム
いそひつき　○斎槻ノ　神木ノ
いれひもの　同心　サシテ
○紐ハ雌雄ノ紐ノソラ互ニサシ入テ結フ
いうど山
いとこやの　イカガ　妹　○寝床屋ノ
いさう失の　ミルハホカニ　ホカイテナン　イハ子ハコソア
いそつど
いちーばの　イツシカ　イツモ　イチシロク
○いつーばに
いろひるく　カクレニシ　トキハ
いえにほる
いくくえの　君カユク
うちひさく　宮　都　ミヤケカ原
○日影ノサス宮トホメタル
うちなびく　ヲミノコラ
○酒麻ハシウミト云フ
うちかびく　我クロカミ　春ノ新
春サリクハ　クサカノ山
うみとろく　ナカラノ宮　ナカトノ浦
うつゆふの　マサキ国　コモリテヲレハ
○ウツユフハ野蚕ノ中ノウロナル
うつせ貝　ミナキ　モテ
うちたとり　多武ノ山
○山ノウチタハメル

うちはらく　サホノ河原
○川ニソヒテ上ル　又ちかるトアリ
是ハ桜ヲナクルトソ
うちよする　或うちえする　スルガ
○按諸説皆穏ナラズ波ノヨスルト云説アタリモミ
うちなびく　仲甲原　ナカハナス　ヲチカ人
又ナカキ心　アク水門　瀬田長橋
○皆長キ意ニテ云ヘ又遠キ意ニモ云ヘ
うつせみの　命　世　妹カヲマヒ
八十伴男　八十コト　思ヒシトキニ
ウツシ心モ　又　ヲシキ　人目ヲシケミ
○ウツクシキ身ノ命世ナトウツシ心モ同シ
○ウツクシキト云意ニテハ妹カヲマヒ　○或ハウ
ツセミウツーミナトモ云現ノ
又古今集ノ比ヨリ空蟬ノ文字ニヨリテハカナキ
ムナシキトモ云ヘ
うちーわ　アヘタチバナ　○甘物甘橘ヘ
うちーわ　ハトリソテ　立テツマツキ
○馬ト云物ノ義ヘ
うつーなく　ハヒモトホリ
○鶏ノ如クハヒモトホルトヘ

うき舟の　コガレテ
うぐひすの　キエテハカナキ
うき草の　ウキタル恋　ウキーアヤ
根ヲタエテ
うのはの　ウキー
うれひまろ　ウチタレ髪
うさもつる　絶ハツガン
○弱弓弦ン
うすゝ氷の　リスキ心
わゝ山の　槙ノ板戸　オカキ心
○マキハ檜ノ山ノ奥ニアル物ナレハン
わきもこ　ナヒキシ妹　ハリノ山
カタレ山　○藻ノニヨセテ云ン
わたなみの　三笠山　天ノ河ラ
○御蓋ト云義ン

うゝ波の　ウトキ
うけの弦ろ　ウカビカヨカン
○鈎ノ糸ノ浮ヒ行ン
梅のはな　スキ物　心ヒラケテ
うりつくり　トナリカクナリ
瓜ノ左生右生ヲ云ン
うちなびけ　ウトキナシヒ
うちつる　王師
おきつ波　ミキテノミヤモ　トヲムマヨヒキ
君ヲオキテ　高シハマ　アレノミマサル
○トヲムマヨヒキハ撓眉引ニテ波ノ貞ヲ云
○シキテハ重子テン
大くもの　高師ノハマ　三津
○高シハ大伴ノ住処ナリ○ミツハ御經柏ン

大くろけ　マカミノ原
○狼ノコヲ恐テ真神ト云トゾ
大とゝ　鯨ツノアマ
○大魚哉ン
大舟の　津守ノ浦　タユタフミレハ
タヅタル時ハ　ユクラ〳〵　モソロ〳〵
タリノ山　思ヒクミテ　香取海
大〳〵の　成トハナシニ　○鳴戸ノコン
大よとの　オホセヨト　○重子タルン
おく高け　キエバ　ケヌノ
おく〳〵なる　ナカキ心
○オクテハ晩キンヲソキハ久シキトン
おく〳〵の　下コカレノミ

大多の　トソ　羽カヘ山
大幣の　ヒクテアマタ
大キナル幣ハ何人モヨリテヒクトン
わきへ川を　アデフノ原　ムナミル時
鴨チフ舟　○ムナミルハ胸ヲ見ルン
おりてゝや　チニハ
○オシテルハ潮ノハヤキヲ云ン又神照ン是ハ
天皇ノ御徳ノ天下ニオシ是ハスエ〳〵
おち髪の　ミタ
おく〳〵の　霜白露
わきへ流　立田

かきろひの　かけろひも　又かけろふの
毛ニル　タサリ　日　下目

オカ

大海川の　伊勢　又ミモスソ川
○イスズ川　山田原　内外ノミヤ

天テルカゲ　五百枝ノ枝　三角柏　豐ミテグラ　玉クシノハ　朝日ノミヤ

○神徳ノ風ノ如ク行ワタルヲ云ヘ又ソレヨリウツリニ色〻ニ云トソ

○神風ノ息トカヘリタルヘ

かゝの実れ　ヒトリ

○種ノ実ハ一ツヽアルナレハヘ

かゝも自物　水ニウキサテ　ウキ子ヲスヘ

かこ角物　ヒトリ子　ヒトリシテ

○自物ハ云モノト云ヿ鴨ト云物　庶兒ト云物

槻のまれ　ツバラ〻

かきつばた　タカミ山　○一ツニツト数ルヿヘ

かけ花の　アヤフキ

うくるゝ　カヘルヘ

坂もちの　下モエ　ツコニカルヘ

海り吹の　ウキテモエ

春　ホノカ　岩カキ淵

又アリヤアラスヤ

○陽炎ヲ云ヘ或遊糸ヲモ云火影ヲ云

又蜻蛉イニモ云○石トツケタルハ火ハ石ヨリ出ルモノナレハヘ

かり孤の　思ヒミタレテ　心ニシヌニ

かきつばた　ホヘル妹　ホヘル君

○燕子花ノ艶ナルニヨセテ云

かゝ衣　ふる衣ヒ　キナラノ里　日モヘズ

日モタ暮　断ヲシミ　カケテ

○着則　紐ナトヨセタリ

又立田　神浦　恨山　又ツ針川

かゝ子ヲ袖ナトサヽアリ

からたち　神ナヒ川　イヅミノ里

六田ノ淀　伝保川　井テノ玉川

人ノ横言

○垣ノホヲ横サマニ結ナレハヘ

前萱の　ツカノマモ　ミタレ

○今云カルカヤニ非ズ萱ヲ苅リタルヘ故ニ

ミタレ　東ノ間ナトツヽケタリ或ハカリヤノ

暑ヘカリソメノ草フキノカリヤヲ云ヘ

かゝとりの　ソコ

○片椀ハ蓋ナキ食器ヘ

霞ヲ刈　春日ノ里

風のまれ　トホキワカキモ

かゝみ草　吾念妹　三津濱也

うゝ花の　コヒテカヌラン

君ヲ代ハ　逢坂山

君ヲ代の　ナカラ山

君をかさして　生田ノ浦

きくれたち　キクニタカヌ　ツリ心

かゝいもの　モリヤ三ケン○表トカケタルヘ

あゝちゞな　ナツサワ

○カヲナヲ知ズ　泥サトヨセタルヘ

ゆゝ衣　キテハ　カケテ

ゆゝめゝき　立ハテ

片糸乃　ヨリ〻

かゝなつふ　思ヒミタレテ

○結果ノ一事ノ形ヲタル菓子ヘ

川きゝれ　妹カユクヘキ

川物　子モコロ

又めゝられ　ハツセ　トマセ○隠ロヘ

君ぞさる　御蓋山

君と我　イモセ

きゝとむふ　心

もゝ井ちゝと　トホキ　心イサヨヒ
くれなゐうれ　遠キ国辺
くゝろつく　クブシサキ　答志崎ム
○釧ハ手ノ臂ニマクモノナレバム
くもとなるの　浅ハノ野ラ　ウツ心
思ヒソム　色　フリデ　人ニアク
くまぢの　荒井ノ崎
くまつら　ツラシ
くまと作の　ヨシ　フシ　又二夜　ナシ
くべたふ　カケテヨラン
○クルベキハ糸ヲクル具ム
又くもとられ　アヤ　○雲霍ノ綾ム
もゝ衣を　ハル
このられや　ウヅキ
木ノ暗キム

くれえとう　アヤ
○呉ハタオリ綾トツケタリ
くまもくら　クビ　又　クル風サムク
ヤモヒ病ム
くゝ神の　ニカミ山
○単ワミハ恙ト云フ
○霊奇神ノ二神山ト公ナモチ少ヒコノ二神ム
くまのえの　ウラミ　ウラサビシ
妹のおの　心ホソキ
くゝ子　チタルクニ
又くゝらとる　ウヽ　いさるとり　ト同シ

とりくの　ハツセ　トヨハツセヂ
○隠口ム　或ハ隠国ム

さとりづれ　タヨベツク
隠水或隠処ム
ささくく　カラサキ　クタラノ系
○カラスノ言耳ニカズ鳥ノサヘヅルヤウナリトム
ささ伏　ウチワノ里　高屋
さやつるき　ワザミガハラ　ワガカゲ
○高麗鈴ノ環トツケタリ
ささひ牛れ　ミヤケカタニ
さゆるきの　イソキ
さくあの　ウキタルコヒ　カギトリアヘズ
さくれよ　ノリシ心
さのうらの　ユクヘラシラニ
さたたの　ハナノ街
さくねこの　志賀　天津宮　大山寺
ふりたさうこと　国ツ御神　平山

さくらもと　マキムク山
○コヲハ女ノコム　マキムクハマトヒテナルム
さくもとの　常陸　田上山　シロノコマ
カハル　ナキノ川
○ナキノ川トハ泣時ハ神ラオホフ故ム
さるはら　高瀬　タカ橋
さもだくみ　ヘダリアソ　やへだくみ　ヒ
重ノ意ニテ重スルコム
さはるの　スガルヲトメ　○スガルハ蜂イシ
さくさ川　ヨハタカスシ
さづさゆく　心ハヨリス
○コヒハ海上ノ流ル木屑ヲ云ム
又もくさけを　オシタル小野
さでもと浪　礒コセヂ　シキテ　ヤム時モナク
マナク

蓮塵　又逆江　比良山　小松
矢走　八十湊　アヤヒキ　鳥テル
長良山　岡田原　ヨリクル人
○サヒヒハ近江国志賀郡ナル筱並ト云地名
故ニ其辺リノ所ニカムラセタリ
又古説ハ小ク波ハ湖水ヲ云トシ
ちさろもの　ツクバ子
○衣ノ緒ヲ着ト云カケクルシ
さゝがるの　蝶ノオコナヒ又ゝりゝぬ云
伺クニ　イカデ　今ハ　イカサマ
イトカクハカリ　イト
○さゝふハ蛛ノ名蟹ニ又いトカリタルハ
蛛ノヘト云フいとトハ蛛ノ糸ニ
さゝうねの　雲　さゝうねニ同シ
さゝ作の　大宮人　ミヤ　君
トまり　ハカクレニタル

○コレハ小浪ニ
さつ人の　ツキカタケ
○さろ人ハ海モヲ云さろ人ハ猟師ニ
さゝづゝふ　モミヂ　ヲトメ　我大君
紐　イロ　妹　君
○ニホヒヤカニ色ツケ良ヲ云ウツクシキニ
さゝもの　アサコヘマシテ
さゝへみに　サハクト子リ　サハグコドモ
○五月ノ蠅ノチハグト云義ニ　アヒキ神
さゝきの　巾　サキク　三ツ
○コレハ福神ニテ三ツ茎ニ三ツノ枝アレハ三ツ
トモ中トモツクケタリ
さゝ柳　根ハアヅサ
○サヒキノ柳ノ根ハルトニ
さき作の　山ヂのトモ　背向ニ子ニク

○さゝす作ノ説イヒモタシカナラズ或ハ矢ノコト
シ又ハ帯ノ竹ノコトシ或ハ竹ノコトスルナリ
イツレモシカトシタル説ナシ
又さゝ作のヒアリ　大宮人　大内山ナトツケタリ
さゝゝとの　ヲフクトクサ　又ヲフク浦
ヲフク山タ　カリフノ原
○かまくらにも又さゝゝのさのヒアリ
○サクラヲノラフトツクケタルニ櫻ト云所ヨリ出ル
麻ニ又櫻アサハ櫻色シタルアサニ
さつきやミ　クラて山
さら水の　浅マシ
さゝし井の　タヘス
○サラエスル井ノ水ノタヘヌトニ
さゆりも　ユリモアハン
○サユリユリト重ナタルニユリハ繞リニ
さゝ志のほる　ロ分ノ命

○ささきノ迎エソガヒニ重ナテ云ニ
さゝねゝ　後モアハント　サネズハ　クル
○コハ葛ノ長クシテ末ノヒ逢トシ
さゝらゝ　錦ノヒモ　○小キ形ノ錦ニ
さゝもろ　イスノミヤ　さゝ作トモ
○ヨキ釧　六鈴ヲツクル上云説ウケ難シ
さゝきし　栗栖小野
○墨ノクリトツキタルニクリハ黒ニ
さひつるや　カラウスミツキ
さゝら波　マナク　○小波ノヒヲミトスル良
さゝら川　アナカ
○小石ニ水ノ咽ヒテカヒマシキニ
さゝ樹の　ナガク
さゝゝ石　サカユルラトメ　○艶ナルヲ云ニ
さゝゝの浦　山サダスギテ
さゝゝびの　モエイソルニ

さゝすゞの　スルスノ小野　さゝすゝ同シ

ちゝぬ火の　ツクシ

ちゝみてる　ツタマサヌタ　片岳山

片足羽川　○片立ト云フ

ちなさる　コレ　○階坂在トシ坂ヲ越ト

ツクシ

ちゝじはく　ユフトリツケテ　ユフハ花タモ

○白髪ノ如キト云フ木綿ノ白キヲ云ヘ

ちろゝの　タスキ　雪　我衣手

雲　袖　衣　アイ江ノ浦

又アサノ衣　アマヒレ　帯　袂

トヲリヨソヒテ　ハヲサシカヘテ

○白布ノ衣ナト云テ夕ヘハ絹布ノ惣名ヘ

ちきるかふ　家トオモヒテ

○ちきも、醜ヘ

ちゝ〜はの　ヤマト

○磯城嶋ハ欽明天皇ノ都ヘ

又高ミ山　ミ台　布留ノ都　三輪

玉井ノ沼

ちづたまき　数ニモアラヌ　賤シキ我ユヱ

○倭文ノ織ノキルモノナレハシヅトツケタヘ

ヲ手巻ハ今ノヘソヘ

ちきたゝの　枕　衣袖　袂　床

家　妹　袖ノ浦　手枕　黒カミ

○敷布ノ夜トツケテヨリ枕トモ床

トモツケルヘ又ウツリテ家トツクルヘ

ちゝやろう　ハル　イソベ山　ヒタノ細江

○張射引トツクヘ

ちゝほふの　ナラ　テミハ

ちゝぶろ　ヨミニ待ント　ヲミイヲシトニ

○繁劍ヘヨキトホメテ云ヘソレヲヨミ

ウヘトカケテ云ヘ

ちゝかげろう　井ノ　ヲハ

○説ヘアリテタシカナラズ

ちゝ〜ちよ　ヲニヒタ山

○コレモタシカナラズ白糸ノ緒トカヘリシナラン

ちゝかさやふ　サヽミヂ

○シナヤカニタユトヲトゾ

ちゝつゆの　ケヌヘキ　オキフシ

ちゝ〜ぶむこ　三津

○白真沙ノ三津浦ノ景色ヲ云

ちゝみふ　オロシノ風

ちゝとの　シハ〜

ちゝ自物　ミツクエコモリ　ヨミヤカタミテ

ザヌリフセテ　イハヒヒヒテ　イヒヲカヘヒ

○自物ハトヲ物ヘイハヒハヒヘ鹿ノハヒフス

ヘミツクエハ水気ヘ

ちゝかりは　ウカヒ所ヒ

ちゝ〜ちの　ヲギサカ山　ハヘ山　又サキヨヘ国

ちぬの月乃　人ミヲヘハ　シヲヒテヌハ

○篠ノ自ヘコノ目ハ群ト云ノ約ヘ

ちゝ雲の　絶テ　タツ　立別ル　カル

オホヨソ　ムラ　イホヘガク

ちゝ〜ぶの　シラズヨル　ヲゴリ　カハル

イヲシロク　オモシル君　ハマ松カエ

白ちの　マヲゴ国

ちゝ〜ふの　ヲキミハ今モ

ちゝ〜ふ山　下ユク永

ちゝ〜河の　シラズ

ちぐさの　浦サビシ　ヒラビナ
ちぐさかの　ヒラズ
ちぐさの　ヒリヌ
○ちぐさハ蘭ノコカ
ちぐさに　ミダレ　ヘル
○文布ハ青白相交故ニミダレト云ヘ
ちぐさの苔　道ハカタク
○下帯ハ向方ヘマハリテカタクトツヽケタリ
ちぐさの　サケテ
ちぐさの　てく萩原　ヒラレム
すぐのひろ　子モコロ　チカキ春日
思ヒミタ
すがたゆ　カナヲ
すがたゆの思ヒスノキ

ちぐさとおふ　カツラキ山
○ちぐさとハ小キ枝ナキヲヨシテ菖テ結ヒカケタリ
ちぐのたくまの　ハノビ
ちひさまの　ハカヘ○栗ノ葉ノ易ルヿニ云カタヘ
ちぐさの　スレギヌ
○雨ナトニ鷺ノヌレタル負ヲ云ヘ
ちぐさひろの　下ユ悪ル　トキノ郡
ちぐさ糸の　ヨリツキカタキ　クル人
ちぐさむの　我子　○愛シテ玉ニタトヘタルヘ
ちぐさの色の　ホカラクトテリ
ちぐさひのかぐの　カタモヒ
ちぐさ深の　ヨスヘ　クラマノ山　タツカ時
すくらゆ　ヒラレ
すみのえの　キシモセサラレ
ちぐさ衣　汐ナレタリ

ちぐさくろくれ　イチバ
せみのえの　ヒトヘニウスキ
深ゆふの　ツミ心
ろにちの　アラキ　翠鳥ノコヘ
ちぐさかたふ　大津ノコガ
○ちぐさかたふハ凡ニカヅルヘ
たちひろる　日ノミコ　ヒノミヤ人
たちゆや　ツヤマサワケ
ちぐさちひを　モリノイヘ　橘ラ守ルトヘ
たきぐろる　錦倉山
たむけぐさ　幣トリオキテ
ちぐさえる　ウチ　余　イク代
又若垣淵　日モタナリテ　立ハルヘキ
我山ノヘ
スセソタ

ちぐさ　ヤマト
○空ヨリミタル大和ヘ
ちぐさ　ミカサノ山　高座御霊ヘ
たちくらの　母　又オヤ
○垂乳子ト云テ乳ノ垂ルヿ云或足ヲ千根ニテ日ラ足テ云月ツルト云ヘ
たちぐさふ　たちぐさふハ霊幸ヘ
カヘ　○善神ト云ヘ
ちぐさもよりり　サヌキ
○玉藻ノヌエスト云カケタリ

○説々アリトモタシカナラス魂極ルニテ生ヨリ死ルマテノ内ヲ云々故ニ命ニ極ト云ハ誤々

いく代ニ受ル々然ニ後人命ノ命終

たまの緒ろ　タエズ　タエタル　ミカキ　長キ　乱　アイダ　ウツシ

○玉緒ハ玉ヲ貫タル緒々

たまきぬのたりきぬ同ジ　サ冊ク

ゐ〻ゐんの　ヲチノ　ヲガミ　小笠原　タル

玉ヲ垂タル緒トツヾケタル々小ハヲ〻コト

ヨムハ後ノコヽ拙ニ後ニハ玉たゝの鈴簾トカキテ専ラ簾ノイトセルヽ

ゐぐゝはら　アハシト云ハ　アヘシマ山　ミマグマ山

○ゐゝさのハ楚々

ゐ浮の　道　又里人　行来岡　遠キ道　手向神

玉藻あり　ウカヘナカセリ　ヨリ子シ妹

カヨリカタヨリ

ゐゐ〻　タユヒナク　ハヘテシアラハ

カケヌ時ナク　タユル　カケニミエツ　タル

○ゐたゐ　ゐゝへて　方ハ玉葛ノイヽ

ゐゝ柳　ゐゝ方玉纏々是ハ頭ニカクルモヽ

ゐゝ　ムコ

○ムヨハ掠ニテハヤスハ栄々玉ヲミカクツヽクヽ

ゐゐろ　手ニマキモチテ　マキ子シ妹

○釧ハ手ニ巻モノヽ

ゐゐ〻ゐ　尊本川　オホノ　アケ　蓋

オク　ミハロ山　又箱子山

○玉櫛笥々アレキトツクモ明ト云コヽトゾ

たゝ〻ゐ　カケ　ウナヒ山

○鉾ハ直ナル物故ニ道トツヾケタル々或ハ只鉾ノ身トカリタルニヤソヨリ移リテ玉ホコト云ヲスクニ道ノイトセルヽ

たゝこでも　クリ山　ムラチカイソ

○

たゝ食　ヒラキ国　ヒラ山風

たゝづぬの　ヒロキタムキ　ヒラキノ国

ヒラヒク

○携ハ自キ物ナレハつぬハ綱々

たゝ原の　ヒヾく

ゐもろる　トメ　沖

ゐひろゝ　イソノ国

ゐちぶも　四番ノ山

たゝもとほり　行見ノ山

たけるの　ホニ出ソムル

たつもろ　思ヒスキメヤ

たちの尻　サヤニ入野　玉マク田井

たゝならて　イナサ山　イツミノ川

たゝなづく　青垣山　ヤハタ

○畳著ト云意ナルヘシ

たゝなはの　カキ金ラ　○手ク縄々

たゝひれの　自濱波　カケ　鷺坂山

携領巾ノ白トツケタリ

たゝ〻す　日　たゝひゝ氏

ゐ氏の水　カヘリテスマリ

○渦カヘリテナカルヽヲ云々

たきゝ流の　ハヤキ心

竹河の　ヨハ

牛の子れ　ウキ

たちゐの　ミエリク里

但馬ホロ　ヨレドモ

ち

たかいさん　タチアモヤアモ

ちれみの　父ノ命　○銀杏ノコト

ちだの　カツヌラミレハ

ちゆえさん　多藝国ノ国　ちいほさんモ

○倚ノ千枝ニサカエニヨセテ云ヘ

ちとや人　宇治

たえ〳〵えの　子クミレナカユ

ちとやぶる　ちとやハモ　神　八

宇治　金ノミサキ　加茂　又雷

我大君　香椎ノ宮　ソノタミ山　タハスノ社

浅間　松尾宮　五十鈴　七ノヤシロ

久マノ宮　君カ千歳　雪ノ白山　神ナ月

右ノ外神社ノ名ニ冠シメタリ

○説ニアル中ニ武ク疾キ意ニテイチハヤキト云ヘ何ニテモタケノ字ハキコニ冠スルヘ

つ

つゆ自物　ケヤスキ我身

ほゆそまれ　ツユノ命

つのゆみの　チニハ　チカス　処ノ名ヘ

槻弓乃　コヤル

○コヤルハ伏ルヘツキヲヲヲ伏ルトカケテ云ヘ

つく〳〵槻　サシテ

つくだ山

つくえねの　コノモカノモ　ミ子ハコヒシキ

○筑波ハ男神女神アヒハ此面彼面ト云ヘ

つむいねの　ツムトモツキヒ

ちるきぞの　ヲシ　身

つし花　匂ハル君

つるきたち　ミニツフ妹　トギ心

ツヤニア社　ヒツキノミコ　ナクラシケクハ

チカコ山　イカコ山　イヨ〳〵トクハシ

イハトコノ社　身ニソヒ子ハ

○名トツクハツルキニハ名ヲツクレハヘ緒トモツ

ケイカトツクハ繋ト云コヘ

ちゲの木の　イヤツキ〳〵ニツガ木ハツギ〳〵葉

ノ出ルトニツクリ　とうの木トアルハ非ヘ

つぬさハふ　イハ　イハミノ海　○イハトツクヘ

○説〳〵アレトモ用ヒカタヘ難ノハフ岩トツ

ノタリ

つえたゝぬ　ヤサカノナゲキ

○文ニタラヌハ尺ト云コヘトソ字音ノ説ナレハ

受カタシ

てとのまる　ホトヽ〳〵

てる月乃　アカザル君

チツテ

又つのゆみ乃　コヤ　チカラ　見ツトナ　ホニ鳴エ

今ツイクタ

つゆ彩の　オキテシクレハ　ケナハケヌヘク

ちゲのる　ヤカミノ山　八野ノ神山

ヤく山　ヲサホつまくもトモアリ非ヘ

○妻ヲコモル屋トツクヘ又つま端ニテ矢トツク

ヘサホハ小笠前ヘ手端ニ矢ノコモルト云ヘ

つきそまの　移心　現ヘ心　ウツロヒヤスク

クヌキ恋モ　カリナル命

○鶏跡神ハヨク色ツウルモノナレハヘ消ヌキト

ツクハヤクヘホムモノナレハヘ

つほすミれ　ツヽラカレヌル

つねな〳〵ぬ　八クニ山

とぶらつの　タヅクヽシ　アヅマ
○トリガ・ク明トカケタルヽ或云鶏ノ声ノ
アトカノタルし
とにつゝみ　我大君　○神ノミヱトミヱ
とろつゝ　松ノ下ミチ　松ラ川
カリ　チノ池　カリガキナカン
○待トニ鹿トモヲクハノハ遠方ヨリタルモノナレヽ
ときゝ　思ヒミダレテ
とり火の　アカレノオトニ
とのゝ　雨フル川
もゝる神の　オトニキヽツヽ　見レハカシコシ
おゆ仲乃　トラヒヨラ　ミコトモスリ
弱竹ノタハムナリ
なよ竹の　ヨナカキ　ヨニヘヌ

ときん風　アケヒノ浦
ところ　コノ橘　○常世国ノ物トスヽ
とぬさたて　舟キル　アカラ山
○トブサハ木末ヽソレヲ切テ切株ニタヽテ山
神ヲ祭ルヽ　サカテ
とゝ　○鳥アミヲハ坂トカケタリ
鳥自物　海ニウキヰテ　ナツサヒ
とりうよふ　羽田
とふもの　アスカ　○アスカハ鳥ノ名ヽ
注ゐなと　ヒタヒキヽシテ　コトタニトハズ
○ナノ子ノモモヱハヌ　ハ知ヽミイニヽ
ゐ川ゐの　アヒ子須　ヌヒマガサキ
オモヒヤヘテ　シナヘウラブ　ツユ分衣

ゐ　ウチカヒヒマケ　或比ラサシテ
或ミガタ　○夏麻引　或トヅケタリ
なゝゝゝとの　ウツヽシヅマ
○浪雲ハ藻ノ藻ノウツヽシ愛ヽ
ゐまとゝみの　カヒノクニ
○生弓ノ返ルト云ニツケタルカ
なゆいゝゝ　ナニモアラズ　三ツ
ゐ取川　ナキナトリテハ
ゐつりその　ナハノリテレヲ
ゐいのゝ　ナカツラレ　ヒルタル　ヌル
○縄海苔ハ
ゐゝゝの　手ヒキ
ゐ蔦の　タヘヌ
なゝゝゝの　タツヲクレハゾ
ゐゝゝの　マチノ時ナリ　ヤメハツカハヽ
ゐきゝゐの　立田山　高尾山　辰ノ市

○卿ノシケリテノネルヲ云
ゐゝゝゝ　カトリノウラ　ウキ　外月二云カ
ゐゝゝゝ　ヨシノ山　ナミノ子山　ハナミノ山
○名ノ至ルヲホメテ云ヽ
なゝゝゝの　袁サカリヰテ
○ゐゝゝさハ投ル笠前ヽ　又投ル後ヽ
ゐゝの湯乃　タギル胸ヲバ
橘ぬの　ナレハマサラデ
ゐゝ北の　ナラレガホ
波の穂乃　イタラレモヨ
○波ノ花イタクフルヽ
ゐもゝの　思ヒニヨル　思ヒニモ元
○燈蛾ノ火ニヨルコヽ
なゝゝゝの　サヾカニ　ヤノタチヽ
○諸説従カタシ
ゐきゝゐと　イハレノ池

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

えや川の　ユカクモシラズ　○行モシラズトカ
えやくの　サツマノセト　セト
○隼人ハサツマニ住故ニ又ハ隼人ハ本ハ海ノ
幸人ナレハサツマモ幸島ト云義ニ
えうたての　倉橋山　サガシキ山　クマ木
○高キ倉ニ椅ヲ立テ登ル故ニ然ツクル
又梯ハソバタツモノナレハサカシキトツクル
えるゐの　ル人
えやちら　タタミ山　○タタルト云カケタル
えろ雲の　アリスルトモ
えふちる　ユクモシラズ
えおぢす　ニハサカエ人　蓮ノ花栄エヲ云
えおろし　カツテモシラヌ　カツミハ
えなゆの　ウツロヒヤスキ
えやゐの　ヤクモ
えろむの　チルヘキ物ヲ

えふつの　ワカレシクルハ
えふさての　タツ子　ユクヘモナヤ下ヨイ恋
○
えうむふ　オトノ命
○愛高ノ弟トツクタリ
甚の月の　カシタ今　カスカ　長ラハマ
○春日ノ霞ムトカケタル
甚は田を　丸ス
えつ丁の　ハツカニ　キヨウタ　ネニナク
えこをれ　アケテクヤシキ
えはちる　アトヤタヘヌル
えまひさま　ヒサシクナリヌ
えふ夏の　カラマル君
えひすれ　ウツロヒヤスキ　○朱花ニ
甚まの　ケキ　馬クヒ山
番花の　イヤツラキ　メテタカラ

えまもる　足ナマム
えやきせの　立アヘヌ君
ひさかたの　月　都　天アマ　雨
アノシシ　ヒカリトケキ　アマツミ　コマ
暗日ノ夜雨　天照月　天ノカグ山　雲
其天ノ物ニ皆題ラスル
○古説ハ天ノ久シク堅キト云意ニ新説ハ鞠ノ
形ニ中ノ空ナルヲ云ニ
ひぐ人の　ウツスミ大
ひろうるの　オクノ手　○左手ハ晩ルトニ
ひ長殿の　サシケク　○剌トツケタリ
ひもれとの　イツカリアヒテ
ひけをれ　我ヒケエヘハ
ひこどり　春サリクハ
ひ風乃　目ニミヌ

ひこどり　ウスヒ坂　又ひのぐれに
○日影ノウスキト云カケタル
ひろる神　ナルハタヨトノ
ひもうみ　ハトカノ山
○説タシカナラズ
ひく胭の　ナツサヒコシト
ひくろ　アラシノ山
ひきゃるの　カクタゴモリ
○独繭ヲヒキマユト云如此二人コモラバトニ
ひもとうめ　根
又ひこち学　カゴト
○カゴト説アリカヲチ言ヒカヲ如ヒ誓言ヒ
ふせやたり　ツマトヒシケン
ふせやたき　スシ　キソヒ　伏屋焼煤トカハニ

吹風と　ナラシノ丘
ふるふる　アヒタモオキテ
ふすまと　引出ノ山　ヒキ田
○衾ヲ引トカケタリ
ふる衣　マツチ山　ウチステ人　キナラ山
ふち波の　只一目ミシ　思ヒマツハシ
ほゝきん　トバタノ浦　○飛ト受タリ
ほゝろうと　カヤク神　ホノカ
ほゝゝとの　タユヒガウラ
○丈夫ノ手纏ヽタユヒハ今ノ小手ヽ
ほゝげゝ　ソカノ河原
真菅ヨシ菅トカケタルヽ
ほゝゝゞみ　ヨガノワタリ　又ヨガル　ヨカラシ
○真ヽラガクヽガトツケタルヽクラク約コヽ
ほゝちゞ　ツギテユケハ　タキアナハリ
イヤトコシキニ

ほゝ乃　カレニシ
ほゝをの　ユキスキガテ　シロ髪
イチシロケムナ　ケナハケヌカニ
ほゝみるの　カメシ
ふぢ衣　ナルヽ　マトホニシアレハ
○藤蔓モテ織タル蚕ノ衣ヽ又喪服ヲモ云
まゝ袋ふる　タシヒタヒヌ
まゝるすむ　ウナテノ杜
○マトリ説ヽアリ鶴ノトヽ云鷲ノトヽ云又雉トモ
云又別ニ真鳥トヽ云物アリトヽ云雀ノトヽ
まゝゝるる　アラ野
まきたろ　アラ山
まゝゝゝ　マサヲ　ヲル　見ル　ムカフ
カケテ　清キ　ミヌノウラ　ミトモアカメヤ

○マサキガツラノアザヤカリマトヽ。葉ノ落ヌ
物ニ常ニキト云
まそゝゝえ　面影　床ノサラヌ
ミナチ山　ヤヽゝゝみ氏
○真澄ノ鏡ト云意ヽ
まむつく　ヲチコチカネテ　ヲチノスカ原
○玉ニ付ル緒トツク
まむつゝ　タエノ心
まろゞ根の　マツトホシ
まつのえの　イツトモワカヌ
まゝおごかす　子ラ
みおうゝふ　ヲミソトメ　ウラ
水底経ヽ奥トツケタルヽ
みおやゝぐ　ヲミノトメ　ミヒアワジゴ

まゝ木根　フトキ心　ホメテツタヘル
まゝゝれゝて　ヨケカハラ
○鉋ヲモテラヲ削ルトヽ
まゝゝゝの　ヨコ山　○遠山眉引ノ如キトヽ
まゝゝつく　ツマヤ　○枕並妻トツクヽ
まろ小笹　マロガマロネ
まゝゝるの　マタユキカヘリ
枝アル海松ノヽ
まつち山　マツホトスキテ
まゝゝゝく　ニブノマロ
水なゝる　ヨサミ池　池田ノアコ
まつゝふ　イソ
水のゝゝの　ウタカタ　キエカヘル
○ウタカタハ虚象ニテ沫ノヽヤカテキユルモノ

ホマミ

水たてと　ホヅミ
みすぐる　信濃

○小竹莉シヌトツケタル〻此説アシカルベ
ほとゝぎす　梓弓　○熟タマフ弓ニ
御ゝくり　ツルキノ池　○御佩ク
みつらさの　久シキ時ユ
○瑞籬ノ宮ハ古ノ久シキ宮故斯ツヾク
ゝぐゝ　久米ロ　久米ノワゴ
○若ク健ル人ヲホメテミツ〻シト云ベ
三日月の　眉子カキ　ワレテ
ミな月の　月ゴシ山
ゝ芝の　オドロノ髪
水の社　ミツル　モル
水潮川　アリテモ水ハ下ニカヨヒテタヱヌカヲ
○此川ハ水ハ沙ニヒヲ行トナン
ゝろほ衣　カル身ソトハ

故郷ノ一定メキ　カナキ　ニ用タリ
みかのゝ〻　カクヒカミニ
○蜷ノ腸　髪黒キ
ほんを　ヨシク国　廣田国　長田国
ほけつ国　シマ　イセ　ナニハ　スシマ
○大御食ノニヘ物奉処ニ冠シメタリ
ほけむろふ　アヂフキベ　南淵　アハヂ
○ほ食むろ山ニツノ意アリ一ツハミケノ供物ヲ云ベ
如ク前ニアルト云ヒ一ツハミケノ机ニ物ヲ
アヂフハ味ノアハ粟ノナトベ
ミ山木の　コリトモコリメ
みちおくの　コマホシク　シブ　思シブ
イハデ　○ハ多ク国ノ中ノ処ノ名ニ多リ
コマハ駒ニテ来マホシトカケタル〻
ミなを桙　ミナヒ又人
みよもうる　信濃

○水流ノ菱ブルトカケリ
ゝふゆつき　春サリ来ハ
ゝてゝゝと　奈良ヨリ
○御幣ヲ並ヘルトカルゝゝトハ机ノ類ナリ
神ニ君ニ物ヲ奉ルニハ種〻物ヲ机ニツミテ
トリカラヘ奉ル
みつきつぼ　大クラ山
○コモクラハ机ノコトカケテ云ベ
みかゝとり　安房
○
もゝきりの　心
もゝくさの　名高浦　ヲタ海
三ツ妹　○紫ハ貴キ物ユヘ名高トツヾケ
又紫ノ濃トツヾク句ハ艶ナル

○水多の　責山　立ニイソキニ　浮ネヤヘキ
タ、ショメ　賀茂ミタモノ色
みぐもろ〻　タリ並居テ
ゝどろ〻の　タ、ニ月日
ゝさごわる　洲　荒磯
みるのワさ　カクヒキカミ
ゝつ玉の　中　ハ　人　山
ゝゝろつく　カセ山
○
もゝきりの　心
もゝくさの　名高浦　ヲタ海
三ツ妹　○紫ハ貴キ物ユヘ名高トツヾケ
又紫ノ濃トツヾク句ハ艶ナル

もとがハ　モトノ心
もとなきの　カラクモ
もとめ代　モヨ
○百代草タレカナラズ
百たらふ　ツヌカノ国　八嶋ワ　タラヒ
ヌデユラクモヨ　ゆつての　ト云ハ非ス
○百三傳ハ五十八十ツ、ケヌ　ヌデハ鐸ノ
多ノ野山ヲフル意ス　ワタラヒモ同シ
百もゝさの　大宮　天宮人　内　大内山
御垣原　八十氏人
○百ゝキハ堅キヨニタトヘテ百石城ソレヨリ
ウツリト百ゝキト云ハ禁中ノコトニ云ス
ももちるの　カラハヒモヨ　鶏鳥ノカハルト云ス
ものゝふ　オホヤケ　事多キ公ト云義ス
もゆるひの　ホナカ
百舟の　ワタラヒ自

ものゝふ　モロトモニ
もゝ月乃　タレルオモロ　タラハレケン
○タレハ満ルト云リ
もゝ敷の　ヌ天君　三野国
百たらず　山田　クマ出　ヤスマノ木
イガタ　イツギ
○コレモ百ニ不足ヌ五十八十ツクルス
もみぢえの　スキテ　スギニシ
○紅葉ノスギテハ散去ルコトヲ云
もの乃　八十氏人　八十ウヂ川　ウヂ川
八十心　八十ノラトメ　ヲトロヲミナ
岩セ社　八十伴ヲ
○八十ハ多キコトヲ健夫ス　ウヂトハ
イツト云コトニテ猛キヲ云ヘイハセハイハシト
カシリ満ルト云意

やくとたち　イヅモ
やくもさすヒ。八雲出モト重キタルヲ
やへたゝみ　ヘグリ　○八重重トカリシヲ
やまゆるの　旬ハ妹　ヤハ時モナシ
焼たちの　やきたちとも　ヲロ　ヘツカ
トナミノ関
関あらた　思ヒマトヒツル
山川乃　アサヤシ　音
山水の　イハマホシ
山もるも　ヒトリカモヲシ　ヒトリシスハ
やさらる　息ツク
八ツ狩乃　蜘手
山のたよ　イツモコ
やほたなでを　穂ヅミノアソ
やふつぐの　カヨキカクヨキ　ホヒトハ
○多星ノ彼行此行ス　長庚星ノコト

百もゝしき　我大君　八隅知ス
やほふよ　イキツキノ宮
○恋百ノエヲモテキツクツ、ケルヲ
山美の　実ヲヌユ　乱リ恋ノミ
たゝなづく　カヲヲカン　樓ニカヘノ説
○山多ハ谷ノヘ　ヲダカナラズ
山美の　ヨタヘ　声
山乃井の　アカデモ　濁
山まゆ乃　ヤマズ
山もろの　トハ
百〻性の　カヲキ恋
やゝの夜の　ヲカサキシラニ
やつめさす　イツモタケガ　ハキヽさすト同シ
ゆく川の　スギニシ
ゆくもの　アラソフ　○飛鳥ノ先ヲアラソフス

ゆふ花の　サカユル時ニ
○木綿ニテ作リタル花ヲ実ニサキシ如ク云ナス
ゆづく日　暁ヤミ
○夕月夜ハ必暁ニハヤミトナル
ゆふたよさ　カケテ
夕月の　ヒテル国　ヨリ

ゆふたゝみ　手向ノ山　タチカミ山　手ニトリ持テ
○布ヲ畳ミテ神ニタムクル
ゆく水の　時ソトモナク　ハヤク
ゆくあをし　スギテ
ゆたけさ　ユシク
○ゆたけハ五百種ニ多キ事ナレハ時ニ田ヲマク
トキニ忌ミシク柴折ザシ網引ナトスル
ユシキハヨリツキ難シト云ホトノ義ニ
よるる波　アヒタモオキテ　ユタケク
よるあの　ヒルマヒシキ
ほるそら　君ヒカヘ　声ニナキテ
よくゆふ　アクマ川
ゆるのつま　マシイツラシキ　オモヒツキシ
イヤツラシキ　ミヒ手枕
○若草ハ愛スラシキモノナレハツマトモ二ヒ手
枕トモツケタリ

よ

よ川よの山　ヨヤ
よき川　ヨシモアラスカ
よとすれ　サカヒノ国
今様ニ夜鶯ト居トツクカ猪トツクカナルヘシ
よどの原　沖ツ深江　フカキ
よどハ海ノニテ渡ルノ意ニ
よろ瓶と　カリタ小野
よきもとふ　アスカ山　衣カヘ　アクミノ海

わ

わたの河　アチノ島　アヂチク花
ワタルテフ名
わたり川　ハカチワタリスル川ニ
わたる水　タエヌカチナル
○志水ハ池沼小川ナトノ水ノ涸ノユリタルヲ云
我恋ヨ　クラブノ山
われあの　ヒク人
わきもこと　キツカノベ
わるもの　立チモ居テモ
わたづの　トモシキ
わとゆく　袖スル山
小山田の　オドカシ　○カシノ
わとゝム　ヤマトヲスギ
わミなくて　サキ野　サキ沢　忍ヘル君

わたゝみ　三重ノ河原
タミハ幾重モシクモノナレハ
わたれ貝　田ニモ忘レヌ
わひさね　我ヒサナラハ
わられて　イクラノ山
我命　ナガトノ嶋
わのもむ　ツクバノ山

ワタル月　アカシイト

わとゆく　行相ノ勅撰
○ヲトメニ行逢トカケタルニ行相ハ処ノ名ニ
をゝもの　ヲミキ
斧のえの　ホトヽ

○冠辭例探纓

是ニ挙ル所ハ冠辭ノ次句ノ頭字ヲ五十音ノ假字ヲ以テ分チ其冠辭ヲ求ムルニ便ナラシム

上巻ハ冠辭ヲ上ニシ此巻ニハ冠辭ヲ下ニシ受ル句ヲ上ニスル之且近体ニ用ナキハ省ケリ傍ニ圖ヲツケタルハ枕辭補注ヨリ加ヘシ処ニ

アメ アマ	ひさかたの あまさかる	アメノシタシ アマテル月	ひさうろ いさかたの	暁やミ 明ユキニケリ
アシヒキノ あしひきの	わらはの あをによし	朝 朝コエマシテ	ゆ〜しく はるかなる	朝立行ケム アシキ神
味フノ宮 吾ヲ待子ラ	みけむろ あをくも松	足ノイトナキ 天馳使	ゆたなびの いかるが	アノ国 アサタノ国
足ナヘノ 足ナヤム	青ノ山の あをにより	近江ノ海	つきもあり いさなとり	アツミノ国 淡路
あふサカ山 天ノ代ル	つきもあれ	アツマ 天ノ香ク山	どうろれく いわうて	つきもあり 安房

アシマ山　ゆまつまの
青垣山　かくれて
青バ山　ゆかしき乃
アラ山　ゆれこゆ
アラ野　ゆまるる
アケサハ野　いとしろ
アサハノ野ラ　うれしみるの
アキフノ原　ゆきつもる
アヤ松原　いりふしひ
アマ松原　あちもこち
明石ノ浦　ゆうちちろ
アカシ大門　とす火の
アカシノ門　ゆふまつ月
阿ヒカシ　あふみと
アラ井ノ崎　ゆまうげの
アリソ　ゆきごろる

アヒ子ノ濱　ゆつまの
芦木ノ川　ゆくゆ
雨ノ川　とれしより
明日香　とゆるの
アヘタ花　うゆ池
アヘチノ花　ゆきもあ
アヤノモミラヌ　あやめ草
摩小衣　ゆきつ
梓の弓　ゆしの
青キ　ゆるの
浅ラ　あ深の
アヤニトモシキ　うまろれ
アヤ　うれえつ
明テラチヨリ　ゆうげ
明テラヤシキ　ゆこ島の
アリカヨヒ、　翔なれ

有テノ後　あり衣の
ゆくはもげ
アリツク間　ゆまたけ
ゆのその
間モラキテ　ゆるゆ
ゆくはの
逢ヌ物ユヘ　ゆうる
アハトイスハ　ゆつ史の
アクトヤ　ゆる月の
アカサル君　ゆう思の
アカヌ　ゆ木の
アラハルマシキ　ゆくの
アラノフハシニ　ゆるれ
アラソヒカヲテ　ゆうれ
アハレ　ゆちーる
アヤウキ　ゆけくの

アサヒシ　ゆ川の
アシカル科　ゆ
アナタツクシ　ゆ
入日サシヌ　あちろ
五十鈴　さく狩の
イスノ宮　さくーろ
イ神築宮　やほふ
妹　ゆくむの
ゆくきたへの
ゆくやの
妹カユクヘキ　川きしの
妹カ目ミステ　あちさふ
妹カヲマヒ　ゆうをの
自心ツク妹ヲ　やさろる
イハノヒメ　つぬさつふ

浅キ心　ゆの井乃
仰キテ待ニ　天はあ
アナカシ　さくら川
綾　おくるの
山ヲトコノ杜　つるぎたか
池ノアリ　水なす彩
賤シキ吾故　ちつたまた
イトマノ国　ゆくとろ
イヒ高国　おもひを
イシノ国　ゆちろ
伊勢　神風の
ゆちろる
出雲国　ゆもつ
出雲八重垣　やくもたち
イツモタケルガ　やつめさし
イカコ山　ゆやぬさ

アセタチセン
跡ヤ絶ヌル　ゆまたの
ゆちどう
雷山
イナサ山　あちもの
たくみ
今来ノ峰　いもらぐ
因幡ノ山　たちるあ
礒辺ノ山　ちくふる
今春山　ちくふる
伊勢高根　神さぶ
岩瀬杜　あのふ史
イクリノ杜　いのつ郎
生田ノ浦　夫をなき
礒　ちくよち
ゆたふ

イツ塩勢道
石見ノ海
イナミノ海
イツミ川
出入川
イツミ川
磐金ノ池
岩
岩垣淵
市場
五十槻
家
賤シキ宿
命

イカタ
夢
色
イチジロク
イク代マデ
熊徊ホリ
イヒ翔
イヤツギノミ
イヤツラシキ
イヤトホカク
イヤマシニノミ
イヤタコモリ
イヤトコシキニ
イヨトトクヘシ
イヤホシソア

イク代マテ
イハテ心ニ
イツシカ
イツトモカヌ
イチシロク
イカヾ
イカニシテカモ
イヤトハコヒト
イヤトラヒコセ
イツキ
イタラム
イホヘカク
イタテラシモヨ
イナ
イツカリヒニテ
イヤツラシキ

イツミノ里
卯月
宇治ノアソ
愛妻
ウカガトモ
オステ人
内ノ国
ウチビノ山
馬クヒ山
臼氷ノ坂
卯テノ社
海
海上浮
ウヒヲ子シテ

ウツクシリ井テ
ウキ子ヲスレハ
ウキヤスヘキ
ウキタル恋
ウキノフツム
ウキテモユル
ウカヘナカセ
ウカヒカヲン
ウキシツミ
ウキタル
ウキコト
ウキフシ

ウキコアレヤ　うきなのうすぎ
ウツリユキヌ　うつりもユクカ
ウタカタノ　うナカフシマケ
思ヒタノミテ　大宮
大宮人　オホヤケスギ
オトノ命　臣ノヨトメ
オモシル君
オトロカミ　大山トリ

ウツ心　ウツル影　ウラサビシ
ウラミ　ウトキ
ウツロヒヤスキ　清の

大津宮　大津子
面影サラス　オノカムキ〳〵
怨坂ノ山　大クラ山
音羽山　オキ長川
オキツ小鳥　オキツ五

沖
思ヒ乱レテ

思ヒマトヒテ
やみおそん

多多ノヒヲモ
オトノミキノ　神の
音ニキヽク　音ヅ
オキテシモバ
おさ長の
オホ　オホニシ思ハ
神
カヤク神　鴨ノ社
カルノ社　甲斐ノ国
カルノラトメ　カヨヒシ君

思ヒニヨル　オト
音キショリ　音ニシ出バ
オホフ　奥
同シ心ニ　ガレヒ小野
カタ恋ツヽ　カタコヒ
カタモヒニ　カレニシ人
カル身　カラヒル君
カリ丈命　カクロキカミニ

思ヒスジヘキ　思ヒスギメヤ
思ヒフム　オノカモシラズ
犬内山
カツラニシテ　葛城山
神ノ香具山　春日ノ山　宇岡山
カセ山　鎌倉山

春日ノ里
カスガヲスギ
春日
神ナビ山
神ナビ川
片足羽川
香取ノ海
カトリ浦
カガ来ナカ
雑
カハ〳〵
カクレミカハ
カラハシモヨ
カユキカクエキ

金ノミサキ
鹿嶋ノ崎
カラニテ嶋
カツレカ
カツノヲ見レハ
カリチノ小野
カラノサキ
カリチ池
カル道
ノツバサ
カモチ舟
帰ル
カヨリカクヨリ
カラキ恋

梶トリアヘズ
ハヒ柳
鹿火ヤカテ
カラウスミヲキ
カレコキ
カケテ
カケス時ナク
影ニ見エヌ
カル
カスミモアラヌ
カヘス〳〵
カラクモ

カツミル
カツテモレラヌ
君ヲオキテ
君カクエキ
君
君ヲ伴ノ

カノヌゴモリ
カゴトハ
キノ宮
木陰
紀人
紀道
キタオキ宿
清キ
キエハトモニ
キエカヘル

キナラ山
キナラノ里
キヒガタク
キシガ野ベ
キエハトモニ
キエカヘル

クモ
国ツミ神
クノ若子
クノコ
キク

クレ稲ヒ
クル人
竹香山
鞠山
暗部山

クタヒ山
クタヒ糸の
巻機山
栗栖ノ小野
クタラノ原

鯨
蛛ノオヲヒ
黒

今朝ノ雪ヤ
ケヤスキ命

ケヌキ恋
ケナハケヌカニ

子等
越

此庁山
ニカタノ海

コカノ渡リ
コロモカスガ

駒ノ孔ヨ
コタエ化

ケナ、ケナマク
ケヌキ我身

消ヌキ

衣
越

コギニシ舟
コモリテオレハ

コノサタスギテ
コヒテカヌラレ

クモデ思フ
苦シキ

ケヤスキ我身
ケヤハケヌヘク

心
心苦ヒ
心ライタミ

心ヲクシ
心ヒラケテ

心カロク
心ホソク

コカレテ
コタヘ

コヤル
コリトモコリヌ

サカエシ君
サカエルヲトノ

サカエルヲ時ニ
サワイヌリ

サワタノコドモ
サワキホヒテ

里
狭田ノ国

讃岐
サツマノヒト

サヒケクシレラニ
サマヨヒヌレハ

ケコサ

コハタカイヒシ
コヨノモカノモ

コヤ

鷺坂山

サキ野
サキ沢

コトミ入野
櫻ノメテ

コハヨリヌ
コトダニトハズ

心ハヨリヌ
コトダニトハズ

サヤ
サヤカニ

サキ
サヒ
サヒ
サヒ
サヒ

シキテモ君ヲ
シヌ(ル)君
シキタヘコ
シタカシタ
シヒノワダゴ
シビツクアコ
シロキタヅムキ
シラヒケ
シラカミ
シラ鬚
シタビノ国
シラキノ国
シラビナ
スカルヨトメ
スキテ

いなかわろ
ところスト
あくひく
秋山の
ほのぎしの
秋山乃
ゆるぎの
ちかとう
なくつぬの
なくつぬれ
ゆかしの
ゆかしの
ゆかしの

高師ノ濱　大波ノ　タチサワキ　タツネクレバ
おきつ波　立別ル　なち鳴ら　誰住バカハ

田蓑嶋　タトキモシラズ　タツノ〻シ
タルミ水　タユタフ心　タラハレケント

瀧　タユトフミシハ　タルヲチモワニ
辰ノ市　タチテツマツキ　タノメル時ニ

高ハシ　タツラスシミ　タキル胸ヲモ
高サノ淀　立テモ居テモ　タキアサハリ

高屋　タエタル
袂　タスキ　タエヌ
旅　タエニシ心
タエヌカナナル水

ち　つ　て　と

千ノ命　千ツ浦ワ　千ルヘキモノヲ
千タル国　茅生　千ヨヲニモカモ

月日　月　ツノ〻サヌカタ　罪犯シ人
ツカノマモ

つちのたる　ツキ　ツク〻
ツマトヒシケント　ツヌカ国　ツバラ〻
妻　ツモリ浦ニ

妻屋　ツユ分衣
築石　露ノ命

ツクシ井キ
テル
テル月夜
午
時トモナノ
千ツテト

手江ノ浦ワ
築波山
築波ヲスギ
ツルキノ池
ツヌカ国
ツモリ浦ニ

手引ノ糸
手ニ巻持テ
舎人
トホキワキモ

手ニトリ持
トヲヨハミコ
トヲヨルコラ

遠キ国　遠ツアフミ　遠ツ大浦　トキ郡　トミノ岡ベ　トベアフミ　トハニ　トモシキ　トナリカクキリ　ナスキ春日ノ　ナバタラトノ　ナビキシイモ　ナガクヤ人ヲ　ナカラシ宮　奈良

トハタ浦　豊泊瀬　トナミノ関　トバ山松　トリカヒ川　トロシノ池　捷眉雉　トコ　ドマセ

床ノサラス　トキハ　豊サカノホリ　遠キ　遠サカリ井ノ　トク　トキシ心　トケズ

難波　名越ノ山　ナラシノ丘　名高浦　長戸ノ浦

名張山　名コセノ山

ナガタ　ナキ川　難ヒギ　中ニ生タル里　ナハトリツケ　ナテミシハ　名ハカツノラシ　名ハノリテシラ　長キ心　長キ　白ヘル妹　白ヘル　紫の　白ヘル　ナニヌ

なら　ナヅサヒケハ　ナヅサヒ　ナヅサフ　ナヅサヒコシト　名ノ惜ケクハ　ナカ心カラ　長キ命　長ハヘヌ　白ヘル君　錦ノヒモ　ニコヨカニ　ヌノギヌ　幣トリオキテ

ナル、　ナハマサラデ　ナキ名トリテハ　ナガル、涙　ナキノミナカン　ナキコソワタレ　ナゴリ　ナガク　新手枕　丹生ノマソホ　ステラノモヨ

根ハアツサヲ
ネヲダヘテ　さんぎ御
うき草の

ネモコロ
川御

ネニノミナカユ
たゞうゝえの

ネテヨヲヘ
ネニノミナカユ　ゆんむの
つりたづの

長閑ノ山
呼ヲルニ　いもかゝえ
ゆえ者の

後モアハン
一　関路山
きゝゞゝ

ノチモアヒナン
ノチニハアハン　紅水の
紅ゐ川れ

寝シコロ　かさろひの
ゆえ小者
ゝ紅小

母
母ノ命　かゝろひの
ゝゝ紅つき

秀
梓弓　ゆゝろ
げゝろもを
ゝろれひく

ハリマハヤマ千
ハリマ　ゆゝ
ゝゝ

春サリクハ
ゝろ
ゝゝ

泊瀬
ハツセノ山　とゝろくの
あゝ小ふ

羽田
春ノ揚　ゝゝちゝの
ゝゝ花ハ

羽交ノ山
濱　ゝゝ
ゝゝ

葉隠ニタル
肌　ゝゝ
ゝゝ

ハヤキ心
早ク　ゝゝ
ゝゝ

年ワケ
土師
濱松ガエ　ゝゝ
ゝゝ

ハヤミキテ
ハヤキ心　ゝゝ
ゝゝ

ゝゝ
ゝゝ

ゝゝ
ゝゝ

ゝゝ
ゝゝ

僅ニ　ゝゝ

日
おゝ
ゝゝ

日嗣ノミ子
人　ゝゝ
ゝゝ

常陸
副　ゝゝ
ゝゝ

昼
日ヲヘテ　ゝゝ
ゝゝ

人ニ恐ヘバ　ゝゝ
ゝゝ

平山
引手山　ゝゝ
ゝゝ

ヒモタ暮
光リイトケキ　ゝゝ
ゝゝ

人ノ横言
人コトキテ　ゝゝ
ゝゝ

ヒメスガ原
ヒダノ細江　ゝゝ
ゝゝ

ヒト夜
日ノ御門　ゝゝ
ゝゝ

人ハクレトモ
独リ子　ゝゝ
ゝゝ

ヒカサノ浦
響灘　ゝゝ
ゝゝ

日テル宮
日カゲル宮　ゝゝ
ゝゝ

独リシテ
独リ　ゝゝ
ゝゝ

ヒモ　ゝゝ
ゝゝ

ヒルゾノ命　ゝゝ
ゝゝ

独リシヌハ
ヒトリカモヲシ　ゝゝ
ゝゝ

ヒトヘ
ヒトヘニウスキ　ゝゝ
ゝゝ

日ノ皇子　ゝゝ
ゝゝ

日照国
廣田ノ国　ゝゝ
ゝゝ

ヒトウラ衣
檜ノ板戸　ゝゝ
ゝゝ

ネノハヒ　ゝゝ
ゝゝ

膝折フセテ	月あ	ヒク		
一目	かさらひの	引テアマタ	あつさら	引ハタユ
久シキ時ユ	つつさの		大ゆさん	昼ハスルく
久シクチリヌ	濱ひさま			たいみつ
冬	西きゆ		石のうみ	吹アケ濱
フルトモ雨ニ	いうれく	古キ都	さくさの	フリニシ里
フル人	くるゐの		連西	秋風の
フカメシ兒	ふらんるの	二見国	岳高田	フリヌル里
二人並ヒ平	水晶もの	フカヌカテノ国		初もん
三人ヒヒ平テ	水晶かん	二上山	舟木キル	節
フヂハラ	ゆ		かさぞふ	とふさたく
フシ見	いゆく	吹飯ノ浦		くれ井ノ
深キ	つぶつ	フヂエノ浦	蓋	
フカキ心	わく山の	フトキ心		
ヘクリノアソ				
平郡ノ山	ハすたくん	ヘグリ		
		ヘッカフ		

ホノカ		ホニ出ル君	ホり	
ホカラ〳〵ト		ホニカ出ナン	火中	手斧もの
ホメカシ		ホメテツクル		斧の柄の
穂ツミノアソ		ホシトハ		
ホツミ				
マツラサヨヒメ		マキ〳〵山	眉ネガキ	
マキネレイモ		マワカノ浦	マタヲチカヘリ	
マロガマロネ		マツラ		
マサキ国		松浦川	マドホニアレハ	
マノ国		マツノ下路	待ホドスキテ	
マナゴノ国		マレロコマ	マサク時ナク	
マキケノ山		枕		
マツチ山		真木ノ板戸		
マカミノ原				
マノ、ハリハラ		マトヘル		

宮
ミヤ仕の
うちひさん

ミヤノ大君
皇子
ものの
あ牛乃

ミヤサカエ人
見十女人
ムなえちす
ミちれ拵

ミミツフ妹
ミヘノコ
つるきたカ
ハのやきの

都
えうとの
うちひさん

ミツホノ国
ミヤノ国
あ乃
とくーね

ミ笠ノ山
大者の
たちそうの
あことり

三室山
あうらさる
ゴうーゲ

ミ十渕山
三輪
みすもろふ
ゆさんの

道
道ヲシテヤ
ほころ乃
大ーね

三室
三津
ゆさけを
天とものの

道ハカタク
水ニウキ井テ
ちれおひの
ゆーね

三津濱辺
ちーまど
ゆ濱ち

三ヌメノ浦
ミツヒ崎
ちうくく
いもう見と

ミマクホリエ
ミヤケノカタニ
いもう見を
こしひキの

三宅ノ原
ミヤセ川
うちひさん
うちひさん

ミハノ河ラ
御祓
我たくみ
ゆーの

ミクサヲハシ
ミエリノサト
ゆーもの
たち乃の

道
ミコモリ
ミナラヌゴト
ゆほころ乃
大ーね

ミナキコトモテ
ミジカキ
うちを見
ゆのとの

ミタレテ
ゆくくの
ゆのを乃
かくもの

かるやれ
ミタリヒノくく
ゆほさけの
ちーかくみ

見ル
ミトモアカメヤ
ゆをを
ゆををく

シレカシコシ
三ツ、
ある井乃
ゆを茅の

ムカツヒノ
ムク田ノ国
あちさう
ちーね

武庫
カヒノ山
えをに
ゆつく日

ムラチガイソ
脇ミルトキハ
たくみごも
ねさうる

メカホル君ノ
目ニハタクトモ
あちさきふ
ちちさりふ

メコトモタエヌ
あちきふ

モエ出ル春
モミヂ
さワくくしの
ふつふ

本
モユル
ちつさう
かきうひの

ミムメモ

結ヒシ紐
向フツダシ
秋茅乃
あうくく日

向フ
紫
ゆをうえ
あうさう

ムラ立チ人
ムラガリ
ゆをくきの
ゆをの

ムカヘヲカシ
ムナシ国
ゆくくの
肖実の

メニシアヒハ
目ニ見ヌ
ゆえ茅の
ゆ風乃

メテタカラ
ゆを花の

守ハ家
百代
たちをと
ゆ代くよ

モノロく
モリヤシニケン
大ふの
かーいふの

諸トモニ
元ノ心
ゆちぐ
ゆとうい

八十氏人　めしてふの
八十ラトヌ　ねのふろ
八十伴男　ねのふの
八十ノ心　ねのふろ
八十伴男　ものはの
八十ノチマタ　ちまたなる
八重山　いのさかさま
八十氏川　ねのふろ
ヤカツナケキ　つるかるぬ
八十言ノハ　ちうをこれ

大和国　ちきりの
秋アーね　空てこそ
　　ちうこそ
きてトラスキ　とてそこ
山城　つきねぬ
山　かり川の
八ツ峯　うー汐の
八重カキ分テ　あつまちの
ヤム時モナク　ちを渡
　　やはれの
ヤハタ　ちうおつく
病　ちてみ
ヤメハツカヘ　いちそれ
ヤマズ　ゆすげの
　　山まの

ヤカミノ山　うしこそる
ヤ野ノ神山　妻こそる
　　ちうこそ
山田　ちたくず
八十クマ出　百たくず
八十ノ鳴ワ　かつたふ
八十ノ木　かたくず

ユフヘニナハ　ちうこそ
タサリ　かきろひの
ユフノ河ラ　いとろ紅
　　まうおりて
ユフハ川　ちうおつく
　　ちてほろ
　　ちうどね

雪
ユツギガ岳　ちうくこの
　　ちうくこの
行見ノ里　ちうどね
弓矢カミナ

ユキモ見ルヘク　ちうくこの
ユカクモシラズ　えや川の
ユキノマニ〳〵　いのまちの
行カヘリ　ねまちれ
ユクサキシラニ　やみの水ろ
ユヽシク　ちたくまき

ユクヘモナクヤ　えぶ菊ろ
ユクヘモシラニ　くりぬの
ユキスキカテニ　ん雨ちる
　　ゆる雪の
ユクラく　ねよちこの
　　ち舟の

チノカタモナク　ぬまこみの
ユキヤワカレン　紅ちろ
ユリモアハン　さやりの
ヌケク　ちする渡

ユフヘニナハ　ちうこそ
タサリ　かきろひの
ユフノ河ラ　いとろ紅
　　まうおりて
ユフハ川　ちうおつく
　　ちてほろ
　　ちうどね

雪
ユツギガ岳　ちうくこの
　　ちうくこの
行見ノ里　ちうどね
弓矢カミナ

ユキモ見ルヘク　ちうくこの
ユカクモシラズ　えや川の
ユキノマニ〳〵　いのまちの
行カヘリ　ねまちれ
ユクサキシラニ　やみの水ろ
ユヽシク　ちたくまき

ユクヘモナクヤ　えぶ菊ろ
ユクヘモシラニ　くりぬの
ユキスキカテニ　ん雨ちる
　　ゆる雪の
ユクラく　ねよちこの
　　ち舟の

チノカタモナク　ぬまこみの
ユキヤワカレン　紅ちろ
ユリモアハン　さやりの
ヌケク　ちする渡

ユフヘニナハ　ちうこそ
タサリ　かきろひの
ユフノ河ラ　いとろ紅
　　まうおりて
ユフハ川　ちうおつく
　　ちてほろ
　　ちうどね

雪
ユツギガ岳　ちうくこの
　　ちうくこの
行見ノ里　ちうどね
弓矢カミナ

ユキモ見ルヘク　ちうくこの
ユカクモシラズ　えや川の
ユキノマニ〳〵　いのまちの
行カヘリ　ねまちれ
ユクサキシラニ　やみの水ろ
ユヽシク　ちたくまき

ユクヘモナクヤ　えぶ菊ろ
ユクヘモシラニ　くりぬの
ユキスキカテニ　ん雨ちる
　　ゆる雪の
ユクラく　ねよちこの
　　ち舟の

チノカタモナク　ぬまこみの
ユキヤワカレン　紅ちろ
ユリモアハン　さやりの
ヌケク　ちする渡

夜
夜雲　ぬくもの
　　ぬくもろ
夜ワタル月　ひさかたの
ヨルハホノカニ　いさろ中の
ヨルく　ちろ波の
ヨル　あろくこち

ヨナガキ　ちうち牛の
ヨルヒルイハズ　あちさふ
ヨミニマイント　世
ヨリネシ妹ヲ　ちぐらぐろ
　　ゆるるの

吉野国　ここうろと
吉野山　かくりくき
横山　まよひきの
ヨヲヤ山　あつくこち
ヨサミノ原　あをミつ
ヨルカ池　いるる れ
　　ヨ
　　くれ牛の

ヨリく　かさいとの
ヨリツギガタキ　ちうくこの
ヨレヤ　ふりの山
　　ふりの川
ヨレモアラスカ　ふりき川
余所　あり泣の
ヨルチキリ　ゆやちれ
　　ちうすみ
　　いえくしの
ヨサミノ池　ふりたきる
世ニハヌ　付ひろ
　　なる牛の

ヤユヨ

わ

我大君 遠つ神 やすみしし わがおほきみ

ワカ子 ワカカケ えつこひの こもりたれ

吾恩フ妹 我恩カミ ワゴ大君 かしこきや いらなみく やすみしし

我衣手 我ヒサナラハ ワカヒケコヱハ ワカヤル胸 ちはやぶる ひさかたの ひけもの ひさかたの

度會ノ国 ワタラヒ 面白の かつらふ

ワタリノ山 ワサミカ原 ワレシラハ 別レシラハ ワカレシユヱ 大和の こもりたれ 大ふねの ひさかたの

ワレテ ワレテモ恩フ 三日月の いくふかう

ぬ

ヌデノ玉川 ヌカヒ かくつばた ようさりの

ヌノ市 ヌミサカエキテ

ヌヤニフ社 ヌミン大君 ぬばたまの うらうらと

ヌトコヨミナ ヌニヒタ山 おのふろ ぬるとほふ

ヌチノ爰原 ヌサホ まむつく つまこする

ヌツバ子 ヌチ野 さこうと ひろれの

ヌフノ下帋 小簾 サシラ林ノ ひろれの

を

ヲ

ヲ人ユタヽニ ヲナ ヲデノ玉川 ヲカヒ かくつばた ようさりの

ヲカノ市 ヲミサカエキテ

ヲヤニフ社 ヲミン大君 ヲトコヨミナ ヲニヒタ山 おのふろ ぬるとほふ

ヲチノ爰原 ヲサホ まむつく つまこする

ヲツバ子 ヲチ野 さこうと ひろれの

ヲフノ下帋 小簾 サシラ林ノ ひろれの

ヲガメ ヲナコチカネテ ぞくれの まむつく

ヲテモヨノモ ヲシキ おしの をしまろ

ヲトノ さふつふ ぬるもろは

歌學集腋巻七

永言寫式

見田尚之纂定
南陵富永贇　校

○短冊書法　并墨継

一不折　古哥ハ不折ニ書常ノヨリハ上デ書出ス右ノ方ヲアケテ書ク右ノ方ヲ明ルハ継短冊ノ料ナリ

歌仮ほうきくやこのゆきをすり
いまとくるとはやちよ花

二折　自咏短冊ハ三ツニ折上ノ折目ヘ半字カケテ書出シ下ハ七分ホトアケ下句ノ下ニ名ヲカクヘ皆ハソコヌヤウニ片下リニ上下ノ句ノ頭ソロヘテ字ト假名トマシヘ書ク字ノナラブハアシ假名ノナラブハクルシカラズ上下ノ皆ノ字ナラブハアシ是モ假名ハ苦シカラズ名ハ黒クフトク書ク

○墨継ノ了初五文字ヨリ二句マテ一筆三ノ句ヨリ四句マテ一筆五ノ句一筆又名ニテ黒ヲヨクツキ一筆ニ又物ノ名其外熟字ヲキリテ墨ヲ継ヘカラズ又学中極元ナトノ字入カクヘカラス

尚之按此ノ字ハ熟字半分假名ニテ書ケハノ字入ルベシトヘハ

うちのそ　初のくれ　月の中　ナトノ類

○懐紙短冊右ノ如ク是非墨継セントスレバ筆ガスルベク墨ノカハモ亦煙フベ幾度モ筆ラトメテ墨ノカスラ又様ニシテ定式ノ墨継ノ処ニテハ一入ハキト墨継書ヨリカキ下ス筆勢ノ墨色ラウツシテ書了秘事ベシ

祝儀ノ歌ハ殊ニ下ノ句筆勢強ク書カナラヒベシ凡テノ哥ニモ下ノ句筆勢ノ弱キハ嫌フベシ名ハ上句ヨリ半字下ケニ書止ルベシ

花の色代うつしやすめとかすみ山
たるとはなしに新やとあるべし　光則

三折　二字題　春雨　山霞　ナド、一字ツヽキリテシカモ字ノ間ノキ又様ニ書ヘシ

四折　三字題　夜春雨　澗底蛍　ナト是モ二字題ノ如シ

五折　四字題ヨリハ　書雁　庭　又月雨　ナトノ類ワリカキベシ但熟字ハ切ラス　離ベ　女郎花

六折　五字題　春深　寄時雨　花始開　懐舊

七折　かすみ　ちり　ちりめの　ちり　のこり

八折　白妙　山の　ちり雪　とれ　れる

九折　置字アル句歌ハ　あり　つきて　・晩ヲ名れ　ちり　清の　あり　ちる　ちる　時の　ちる　ねる　侍成

十折　常ノ置字如此　百代をかけて　名ハ紀の　山乃　ちり　勇　淀乃　まくさ　こそ　ろ　元補

三字題ノ句上三置テ可ス

十不折 罫カケノ短冊ニ吉哥ヲ書テ如此

十二折 罫カケニ自咏如此二色アリ 當時ハ皆此体ヲ用フ

○神前奉納ナトニ用フ又平生ノ會ニモ用ヒチクモリニ金ニテカケル今紙ニハ白罫カウス墨ニテ

紅葉

ちはやぶる神の御代にかけてこそ
紅葉の錦
なかれたりけれ
為家

山と
ゆきかへるあしのうれにこのくれそ
木の葉ふきまて月やもりける
丹後

カクルナリ
尚之樣是ラハ不折ニテ書
ヘキ〻折トアルハ誤ナルヘシ

十四折 是ハ追悼ノ書法ニ紫ヲ上ニシテ書ク省モソロヘテ書ク故ニ常ニハ省ノソロフヲ忌ク但シ紫ヲ上ニスルハ追悼ノ時ト藤花杜若荻ナトノ會ニハスルヘシ是ハ其色ヲ賞シテスルヿ〻但シ勸進ノ短尺巻頭ノ哥紫ヲ上ニセス常ノ如ク書ハ紫ヲ上ニスヘカラズ

釋教

ちはやぶる神の斎垣の榊葉は
昔に匂ふ榊なりけり

十五折女短冊 是ハ頭モカナニテ書ク下ノ句ハ上ノ句ヨリ一字下テ書止メもとくさニ止ルク又上ノ句ヲ二三字下ノ句ヘ書アマスヿモアルヘシ其時ハ上ハ同ジ樣ニテ

ヲヘテ書ク此もゝきえと樣ニ書ヲ本艸ト云此ハ御製トマカハ又為ク女ノ名ハ裏ヘ返シテ書ナリ

裏

何女

右ノ外哥仙哥ヲ書ヿアレト畧ス凡テ短冊ヲ書ニハ心得アリ省ノソロハ又樣書ヿ〻悼ト無常ハ省ヲソロヘテ書墨モウス墨ナリ

○詠艸書法

凡テ咏艸ハ哥數アルヲ云ト或抄物ニアナレトウチマカセテハ人ニ添削ヲ乞時ニ首ニテモ三首ニテモ認ルヲ咏草ト云ナリ

○紙ハ杉原ニテモ美濃紙ニテモ用フルヘシ如圖ニツニ折其ヲ四ツ折ニシテ題ハ哥ノ方ヘヨセ名ハ紙ノ端ノ方ヘヨセ書ク尤替歌有シ替哥ナキハ尤失礼ク

書法如圖二行七字ク三行十字ク頭字ヲ字ニテハカ又ヿク

二首題ノ時ハ裏ヘ返シテ書ク下ノ圖ノ如ク二首目ノ七字ハ裏ヘ返スナリ

三首四首モ之ニ准シ知ヘシ

梅 名上

題　名上

裏返シテモ字カクル

題

題

二首以上ノ詠草ニハ白帋一枚入テ拵フベシ

一首題ハ裏白ニナシハ白帋入ルニ及バズ

尚之按是ハ添削正誤ナドノ時ノ為ニ尺牘ナドニモ左白トモ左ニ白帋ヲ残スコトアリ

○竪詠草　是唯一首書ク

如圖紙ヲ

メテユ拵テ

半分ニ書ク

是ハ賛歌ハ

○懐紙書法

ナシ

詠草更皆樂春

和歌

正二位資枝

久に多義城わくれむ
春又嘉祥代なれはひかも
みゆ臣とを累楚多

能新喜

先右ノ手ヲ紙ノ端ニアテ　大指ノアタル通リニ書出スベシ

題三字已上ハ分テ二ツ　ヨ　二書テモヨシ　ゆとくさトハ

文ニテモ何ニテモトヽ

ナニハカ故実ヽ

右ノ如ク字ヲ下ルヲ「わ」くさトスベシ

○如圖下ノソロハ又猟ニ書ク悍無常ハ下ヲ掴ベ薄墨ニテ書ク古例ニ依テ常ハ薄墨ニテハカズ

又二行メ三行メヲ下テ二行メヲ上テ書テモヨシ

○歌ヲ書ク懐帋短冊色紙ニテモ月ト日ハかかニテハ不書ク故実ナリ

右書法高貴ノ人先生又ハ出家ハ顕ハカリ書季ト同ノ字ハ不書法也其外ハ季同可書ク又平人ハカリノ時ハ季ハカリニテ同字ハ不書ク

右季ノ内「春」日ハカリハ如此ノ字少シク閑字トテ字ク夏秋冬ハ閑字ニ不及ベシ

尚之按是ハ春日トツヾク時ハ日字ッキテ書体見苦シク具昌ノ字トマカフ故ナルベシ

○サテ歌ハ三行三字九十九三ト書ク古例ナガラ書ヤウニ傳アリ二行メノ下ニ下ノ句ヲ一字カ二字カケテ書終ノ三字ハ何レモ真字ニテ書ク若文字アマラハ

「見る留茶　雲子代」ナト・四字ヲ三字ニシテモ書ク

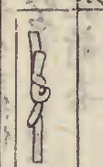
○右端作リ季子書ノ時ハ姓ハ薄墨名ハ濃墨ニテ書ク

○女懐紙ハ哥モ散シ書ク書法色紙ノ如シ凡テ女ハ懐帋短冊共ニ名ヲハ書又ハ依テ校講ノ時ノ心覚ノ為裏ノ右ノ方ニ少ク書ク

○懐帋綴法ノ「是ハ貴賤ニヨリテ大小アレハ上ノ方ニテソロフルヽサテ短冊ホドノ細サニ右懐紙ト同紙ヲ二枚切テ竪ニ四ツニ折疊シマヽニテ長ク引延シ懐帋ノ端左ヲ綴ルヽ

裏ヨリ通シテ表ニテ高蘆結ニスルヽ

表



裏

文化何年何月幾日　字ヘシ　此ノ如ク文化十二年十月朔日和哥會ナト

ヘシ　凡其席先生ナクハ稽古會ト可ス

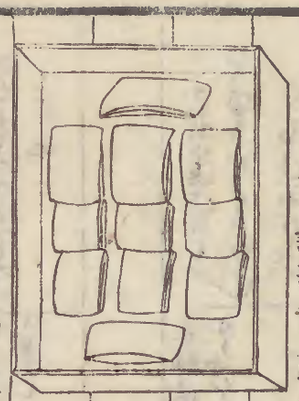
○懐帋二首題ハ二行七字ニテ三首ヨリハ紙ヲツギ九首マテハ二行七字ニ書ク十首ヨリハ二行ニ書ク○二行七字ハ詠草ノ如ク書端作ハ題ハカヽス一首一首ニ題ヲ書ク

春日詠二首　和歌　姓名

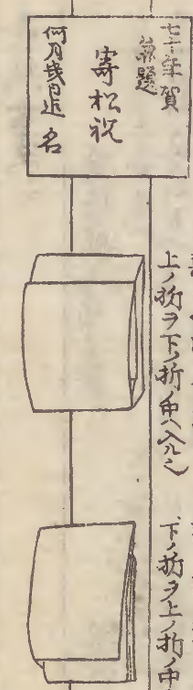
上ノ如圖ナリ

春浅東洲

當座探題短冊ノ「左ノ如クナラヘテ幾首ニテモ出スヽ巻頭巻軸ハ分ルヤウニ横ニヲキ外ハ堅ニ並ヘ出スヽ尤短冊探リナヒ題ノ見エヌヤウニ題ヲ書タル上ノ方ヲ下ニタヽミテヲクヽコレヲ取テ詠認メ出ス時ハ名ノ方ヲ下ニシテ題ヲ上ニシテ出スヘシ



又年賀其外哥ヲ人ニ呈望ノ時ハ左ノ如ク小帋ヲキリ題ヲ書短冊ニ枚ツヽ入ツヽミ入テ包「ナリサテ右ノ歌詠ヽ遺ス時ハ短冊ハ常ノ如題ノ方ヲ上ニシテ包紙ハ上ノ折ヲ下ノ折ノ中ヘ引入来ルヲ打返シテ下ノ折ヲ上ノ折目ノ中ヘ引入テ遺スヽ



○歌ヲ包時ノ包紙図　上ノ折ヲ下ノ折中ヘ入ル

○歌ヲ遺ル時ノ包紙図　下ノ折ヲ上ノ折ノ中ヘ入ル

国立公文書館
National Archives of Japan

色紙書法

順徳院

この春ろふの金ろを
きるひぬはゐ雲ゐ
のとをもろろくるのい
をす地

巻頭ノ色紙
イヅレモ九十九三ト書ベシ
姓ハ淡ク名ハ濃ク書ベシ

能因

ちかひの糸ろ
うまれ白雲ハ
うろろるやとの
たまもろされろ

第二ハ皆如此書ベシ

ろろ雲ハ海れ月を
ゝはちろろるろを
のろをみあ
世あろやや

仲正

巻軸ハ皆如此カクベシ

かへれ屋雲井
をとうなとぬ也
やろ
をし
と世 あむ 緑を
ろ

ウラ 赤染衛門

女ハ裏返シテ名ヲ書ベシ

あきろ秋ろ能也
あまれにおろい出て
ゆををむ人の
ろ地社られ
後頼

みりふ
ろ紙の
ろみろ
ろを貞

あろて
止ぬる
名を
や跡
さむ
師教

撫子ろ草ろの
籠ろ雪ろふをハ
あろ
名き
ろろ
仲正

糸ろろをや
人の紅紅葉
云教

桜舗
花の名ろあ
まを柳ろ

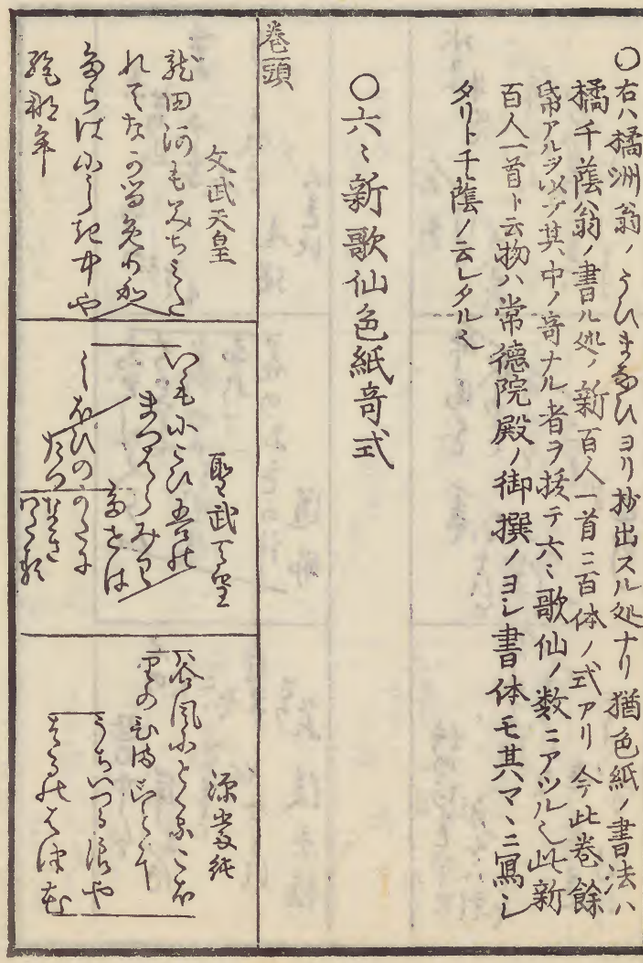
雲の海ろ星の
雲ろ波 林本
月の
ろを
ろる
ろ西

代ハ小遊ろうを
ろれ代くのろせ
をしにあろ系
和方の浦なを
通具

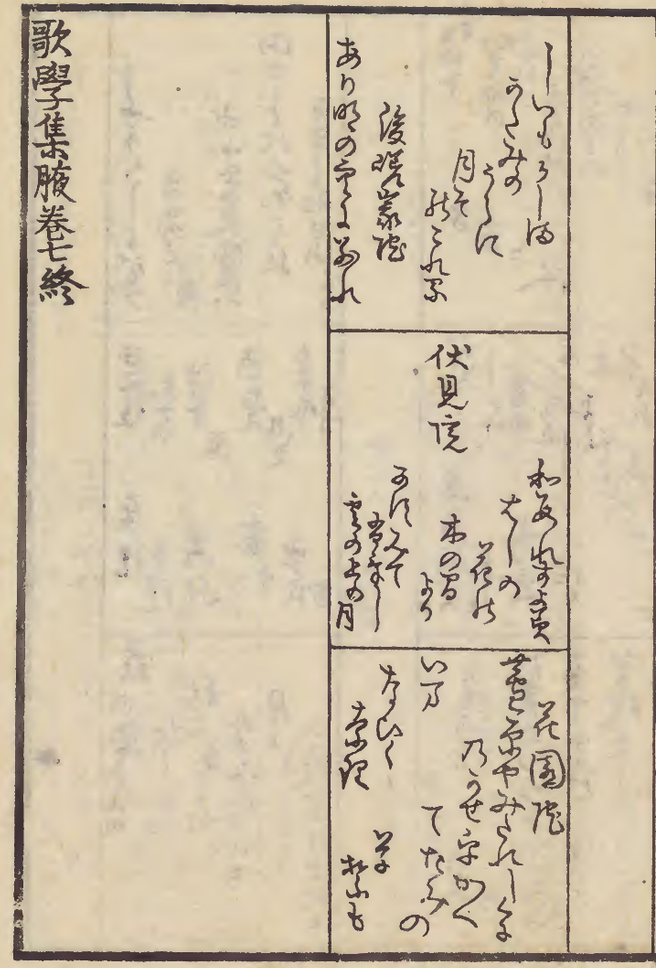
○右ハ橘洲翁ノ[illegible]ヨリ抄出スル処ナリ猶色紙ノ書法ハ橘千蔭翁ノ書ル処ノ新百人一首三百体ノ式アリ今此巻餘帝アルヲ以テ其中ノ奇ナル者ヲ按テ六〻歌仙ノ数ニアツルし此新百人一首ト云物ハ常徳院殿ノ御撰ノヨレ書体モ其マヽニ寫シタリト千蔭ノ云レタルし

○六〻新歌仙色紙奇式

巻頭



国立公文書館
National Archives of Japan



歌學集腋巻七終

見田慶元著

嘉永四辛亥年冬

江戸芝神明前
岡田屋嘉七

国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫
和書
類 一八四七六
號
冊 四
函 二〇二
架 一〇

国立公文書館
National Archives of Japan